

2024年
5月1日発行
205号

江差町
江差
えさし

議会だより



早くみんなと仲良くなりたいな～

☆江差北小学校新1年生入学式

3月6日～7日 第1回定例会開催

懲罰特別委員会を設置

・本会議中の議員に対する懲罰可決

一般質問

- ・室井 正行 議員
計画の見直しを思い切って行うべき
- ・出崎 太郎 議員
江差港の長期構想見直しに着手を
- ・増永 一彦 議員
工コ-建設費を町民と共に返済するか
- ・塚本 眞 議員
能登半島地震を含めた防災見直しは
- ・大門 和幸 議員
子ども議会を開催する考えは
- ・小梅 洋子 議員
町の「ふるさと納税」返礼品経費率は
- ・田畑 豊利 議員
日本遺産認定再審査の情報開示を

予算質疑

令和6年度事業予算について
慎重に審議しました

令和6年度一般会計予算

・総額61億6430万円を可決

令和6年度 一般会計予算 総額61億6,430万円を可決

令和6年度一般会計は
対前年比で**2.97%減**

町政執行方針

令和6年度は私が町長の任に就いて、丸10年となる。

我がまち江差町は、人口減少や少子高齢化という難局にあるが、令和6年度は、農業のICT化やサーモン養殖事業、檜山沖で検討されている洋上風力発電事業の推進などによって、国の課題解決に協力していくとともに、江差の強みをより一層、まちづくりに生かしていく所存である。

引き続き、皆様と力を合わせ、誠実に、丁寧に、全力で町政運営にあたることをお約束する。



執行方針を表明する照井町長

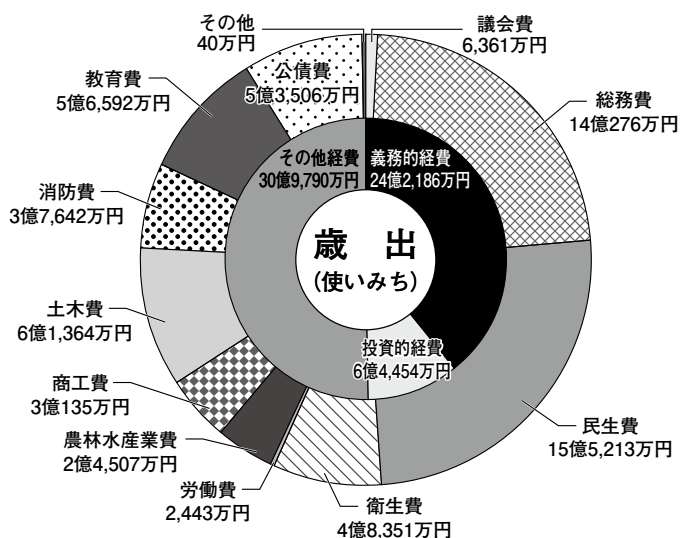
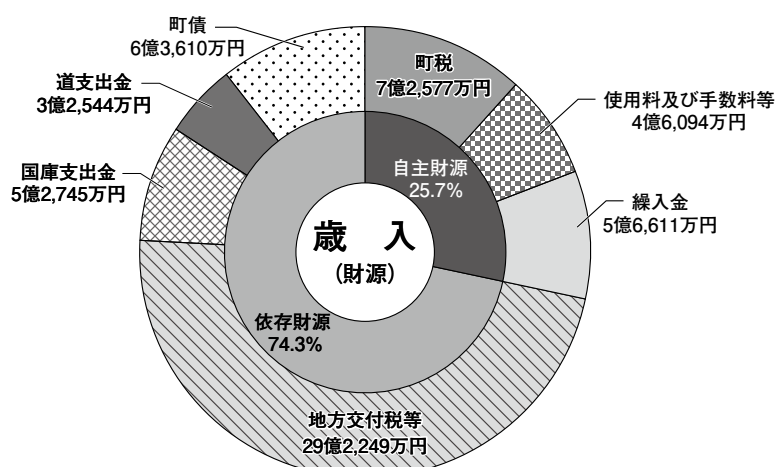
主要施策

1 3つの重点施策

- (1) 住民生活の利便性と活力の向上を目指した取組
- (2) 再生可能エネルギーに対する取組
- (3) 安全・安心の地域づくり

- 2 産業基盤の維持・強化のまちづくり
- 3 不幸ゼロのまちの実現
- 4 地域・未来を担う人づくり
- 5 地域を支える社会基盤の整備
- 6 将来にわたり持続可能な財政運営

令和6年度一般会計予算 金額及び割合



予算の大半を占める令和6年度一般会計予算は61億6,430万円と、昨年度に比べ1億8,310万円(2.97%)の減となりました。コミュニティプラザの建設が令和5年度で終わることが、歳入歳出予算減の主な要因となります。

令和6年度一般会計においても、町税総額で3,533万円(4.6%)を始めとした歳入減や、各種事務事業に対し、財政調整基金(積立金)を3億円取り崩すことにより、不足分が賄われます。

一方、歳出は、町道や公営住宅などの生活基盤整備事業や観光関連事業、地域づくり事業が予算化され、議員から進め方や今後の見通しなどについて質疑が行われました。

◎今年度の当初予算（一般会計）の主なものは

1 住民生活の利便性と活力の向上

江差マース事業

233万円

これまでの実証実験を基に、夏頃を目途として地域住民の新たな公共交通サービスを構築していく。

北の江の島構想推進

1,404万円

魅力ある施設づくりのため、設計・維持管理業務を担う運営企業を選定し、事業開始につなげる。

コミュニティプラザえさし（愛称：エコー）管理

1,124万円

令和6年6月供用開始予定のエコーに係る管理・運営経費。

2 再生可能エネルギーに対する取組み

再生可能エネルギー推進事務

1,124万円

町主要7施設のFS（ファジビリティスタディ）調査を行い、太陽光発電に係る効果を検証。

3 安全・安心の地域づくり

消防自動車（大型タンク車）整備

1億624万円

購入後30年が経過した大型タンク車を更新し、最新資機材のほか泡消火剤を備え、消防力を強化。



現在の大型タンク車両

4 産業基盤の維持・強化

ふるさと応援寄附金対策

3億2,817万円

ふるさと応援寄附金の返礼品を通じ、特産品開発や地域経済への振興を図り、地方創生へつなげる。

※ 基金への積立金2億2千万円を含む。

有害鳥獣駆除対策

752万円

近年、多発するヒグマ等被害を未然に防止するため、ハンター等人材を確保・育成すると共に、立木の伐採や箱わな、電気柵を設置する。

5 子ども子育て支援及び不幸ゼロの町の実現

子ども医療費助成

1,902万円

保護者の負担軽減や家庭生活環境を向上させるため、高校生までの子どもの医療費を無料化する。

6 地域・未来への取り組み

開陽丸船体現状確認調査

288万円

令和4年、開陽丸遺跡出土品が文化庁の重要考古資料に選定されたことから、資料再整理を行う。

7 地域を支える社会基盤の整備

町道陣屋榎川線道路改良工事

4,620万円

町道陣屋榎川線（旧駅下から国道まで）の舗装・排水改良工事に併せて下水道工事を実施する。

8 その他

江差町議会議場映像設備更新

777万円

現在故障中である、議会議場映像設備を更新すると共に、議会本会議のYouTube配信を開始するための設備整備。



故障中のカメラを含む映像設備を更新する

討 論 ～私はいこう考える

賛 成 大門 和幸 議員

高齢化社会を見据えた住民の足を確保するための北部地域のバス路線の見直しや「江差マース」を活用した取り組みのほか、地域コミュニティの創生に寄与する「コミュニティプラザ江差」（通称：エコー）の供用開始は、上町地区の活性化にも繋がるものと期待している。

「北の江の島構想」においては、民間のノウハウを活用した拠点施設整備の具体化や運営方針を見据えたものとなっている。

檜山沖で計画されている洋上風力発電事業など自然エネルギーを資源化し、将来的には地域経済の活性化にも繋がる。

江差町の新たな魅力づくりと地域経済の活性化、町民が住み続けたいと思える行政サービスの継続などに向け、職員の英知を結集し邁進される様、期待する。

予算質疑

令和6年度事業予算について慎重に審議しました！

令和6年度一般会計予算について、担当各課から所管の予算概要説明の後、議員より担当各課に対して予算等に関連した質疑や意見がありました。それぞれの議員よりどのような質疑意見があったのかを一部要約しご紹介します。

財政課

江差町財政調整基金の取り崩しについて

問

施策上の必要がある時は、萎縮する事無く取り崩して使うことも検討しては。(室井議員)

答

財調残高や起債の発行残高に配慮し、財政・まちづくりの両輪で持続可能な財政運営に努める。

産業振興課

江差産ニシン活用対策事業について

問

江差産ニシン活用対策事業とは具体的にどの様な対策か。(小梅議員)

答

「観光まちづくり協議会」を通じ事業を行っており、ニシン漁で年間2000kg確保し、町内飲食店や商品開発の事業で活用している。

健康推進課

妊娠・出生期の支援及び子育て支援について

問

妊娠・出産・医療・子育て支援に対して一貫して完全無料化を検討しては。(室井議員)

答

どうすれば子育てしやすい環境に繋がるか、しっかり見極め最大限努力していく。

産業振興課

有害鳥獣駆除事業（ヒグマ特別対策）について

問

熊の個体数が増え、昨年は市街地・病院の近くにも多くの出没が見られた。春熊駆除対策は。(塚本議員)

答

ハンターの育成・確保対策やヒグマの緩衝地帯など。北海道や専門家と連携し注力して参りたい。

高齢あんしん課

まちづくりカフェ活動拠点施設整備事業について

問

活動拠点施設をエコーへ移動後、檜山ハイヤービルを活用する予定は。(飯田議員)

答

活動拠点施設は檜山ハイヤービルを4か月間借り上げており、それ以降は借り上げせず、事業を含めエコーへ移動する。

社会教育課

文化会館管理（控室の修繕）について

問

文化会館控室について、湿気によるカビの対策は。(増永議員)

答

事前に控室のカビ壁・屋根の改修・畳の表替え等を実施。令和6年度は和室の一部をフローリング化する改修を進める。



一般会計予算採決の様子

第1回定例会

こんなことが決まりました！

◎補正予算

《一般事業減額補正・財源更正》

◇役場庁舎管理ほか36事業

▲4,352万3千円(国庫支出金ほか)

《一般事業補正》

◇能登半島地震災害派遣(珠洲市)

132万円(全額一般財源)

◇総務管理事務

149万8千円(全額一般財源)

◇減債基金積立

1,396万7千円(全額一般財源)

◇ふるさと応援寄附金対策

2,000万円(全額その他特定財源)

◇江差町企業版ふるさと納税地方創生基金積立

300万円(全額その他特定財源)

◇珠洲市災害支援寄附代理受入事業

30万円(全額一般財源)

◇令和4年度新型コロナウイルスワクチン接種対策費(令和3年度からの繰越分含む)

国庫負担金返還分

89万6千円(全額一般財源)

国庫補助金返還分

97万1千円(全額一般財源)

◇令和4年度子ども・子育て支援交付金(国費)返還

84万円(全額一般財源)

◇能登半島地震珠洲市義援金

300万円(全額一般財源)

◇個人住民税定額減税に係る総合行政システム改修委託業務

106万円(全額国庫支出金)

◇戸籍附票システム改修

267万3千円(全額国庫支出金)

◇社会福祉法人が行う利用者負担軽減事業助成

676万8千円(道支出金他)

◇障害者医療給付

510万円(国庫支出金他)

◇直轄港湾整備事業(令和5年度補正予算分)

510万円(全額地方債)

◇公共下水道特別会計繰出金

1,341万6千円(全額一般財源)

◇条例制定

◇江差町コミュニティプラザえさしの設置及び管理に関する条例の制定

◇指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の施行に伴う関連条例の整備に関する条例の制定

◇条例改正

◇江差町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正

◇江差町職員の育児休業等に関する条例の一部改正

◇江差町看護職員養成修学資金貸付条例の一部改正

◇江差町児童保育所設置条例の一部改正

◇江差町介護保険条例の一部改正

◇江差町農業委員会の委員等の定数に関する条例の一部改正

◇江差町港湾管理条例の一部改正

◇江差町水道の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正

◇江差町公共下水道条例の一部改正

◇江差町公共下水道利用促進条例の一部改正

◇江差町税条例の一部改正

◇条例廃止

◇江差町青少年問題協議会条例の廃止

◇その他

◇放棄したその他の債権の報告

◇江差町財政調整基金の処分

◇江差町公共下水道江差・上ノ国下水道管理センターの建設工事委託に関する協定の一部を変更する協定の締結

◇工事請負契約の締結(令和5年度陣屋・円山地区町有地地面崩落防

止工事)

◇工事請負契約の締結(町立江差小学校エアコン設置工事)

◇工事請負契約の締結(町立南が丘小学校・江差中学校エアコン設置工事)

◇工事請負契約の締結(旧江光ビル跡地活用拠点施設建設工事契約の変更)

◇指定管理者の指定について(江差追分会館・江差山車会館)

◇指定管理者の指定について(江差町文化会館)

◇固定資産評価審査委員会委員の選任について

◇人権擁護委員候補者の推薦について

中野孝弘氏

山田清美氏



中野孝弘氏



山田清美氏

第1回定例会 行政報告



次のとおり、町長が行政報告しました。

1 能登半島地震における友好都市珠州市への災害派遣について

令和6年能登半島地震により被災した珠州市に対し、1日も早い復興に支援していききたいと考え、職員を避難所運営業務支援などに充てるため派遣して来た。

その後、檜山町村会並びに檜山振興局の協力を得て、3月末までの支援継続を決定し、江差町を含めた檜山管内及び檜山振興局職員の延べ61名を予定しているところ。

友好都市珠州市の一日でも早い復興に当町も最大限支援していききたいと考えているが、3月末までの派遣を一区切りとしつつも、新年度における支援策については、改めて派遣などの対応について検討していく。

2 寄付採納について（臨時会及び定例会）

◇江差ライオンズクラブ 会長 紺谷 ひろ美 様
新入学児童に対する文房具35セット

◇第一生命保険株式会社函館支社
江差営業オフィス機関長代理 福田 丈洋 様
新入学児童に対するタオルチーフ28枚

◇江差グリーンエナジー株式会社
代表取締役 戸田 勝也 様
現金300万円（令和5年度2回目のご寄付）

◇ホクレン農業協同組合連合会
代表理事会長 篠原 末治 様
企業版ふるさと納税100万円

◇生活協同組合 コープさっぽろ
理事長 大見 英明 様
交通安全ランドセルカバー35枚

一般質問 7議員が町政を問う

議員にとって「一般質問」は、議場という公の場で、町長や教育長に対して町政運営の考え方や将来に対する方針を質することができる唯一の場です。

◆質問は要約されています◆

議会だよりのスペースの都合上、質問・答弁は要約したものを載せています。

◆表示の説明◆

文中の(再)はそれぞれ再質問、再再質問を表します。

議長諸般の報告

正当な理由なく会議を欠席した議員への注意について

田畑豊利議員が、議長及び各委員長が招集した諸会議に対し、地方自治法第137条に規定されている「正当な理由のない会議の欠席」が数多く見受けられた。2月14日議長が田畑豊利議員を呼出し、厳重注意を行った。

問 計画の見直しを思い切って行うべき

答 新たな重点施策を含め見直しを進める

江差町のまちづくりの基本指針である第6次江差町総合計画、都市計画マスタープラン等の他各種計画については、成長の維持、増大を前提として策定されたが、近年は、SDGsや洋上風力発電、民間活力を活用した政策転換などに準じ計画や条例などを見直す認識が必要である。

厚生労働省人口問題研究所が、この先26年後の2050年の将来人口の推計を公表し、現在人口の半数以下の46%、3,445人と推計されている。推計のみで判断出来



室井 正行議員

ないが、現在の計画の見直し修正、追加の検討を思い切って行うべきと考えるので答弁を求める。

町長 江差町は食糧や自然エネルギーを都市部に供給出来る大きな魅力ある地域で、魅力を活かし活性化を図るべきと強く認識する。

現在の計画などの見直しや修正、追加などの検討については、令和6年度は第6次江差町総合計画後期基本計画の策定年度であり、策定の論点は、再生可能エネルギー関連、民間会社との事業展開などが、重点的な施策としての位置づけが想定され、町の各種計画の議論は、総合計画に則した形で進められる。国が推計した人口に、頭を抱えるのではなく、この地域に住む皆様が今以上に幸せを感じ、UターンやIターンに

もつながら様な行政運営を目指す。

町だけの問題ではない。現実や問題点を把握し、視点や考え方を必要に応じて心構えが必要。萎縮せず、全職員が力を合せていく考え方が必要になる。

ベースは政策、計画、施設も含めて、スク

問 旧鉄口旅館周辺地区の有効活用を
答 民間からの活用相談はしっかり対応

旧鉄口旅館跡地、江差商工会を含む周辺地区は、江差町中心市街地の商業地域の中で、景観、立地条件など共に秀れた地区のひとつで、ラウンドマーク的な位置であると認識する一方、空地、空屋が存在し、町民からは何か利用出来ないのかという声もある。持続可能なまちを創る可能性を求め、土地利用の検討策定を図るべきと考えるが如何か。

町長 第6次総合計画、江差町立地適正化計画、どちらの計画も示され

ラップ&ビルドの考え方を肝に銘じて行うべきだと思う。スクラップは町民に対し時間を掛けて丁寧に説明し、ビルドは継続すべきことは継続し頑張っていく。そういう考え方が必要と思う。

全課長が共有して江差に絶対残したい物、少し修正して残したい物、これは民への期待である。当該地は、国道から上町地区に通じる主要な道路に面した上、ある程度の面積も備え、一体的な利活用が可能。民間企業から相談があればしっかり対応していく。

一方、令和6年度は、エコの供用を開始する年で、当面は力点を置きながら中心市街地活性化を目指す。町長 令和4年第1回定例会の一般質問で、用途地域の見直しを図るべきと提案している。付近は商業地域で、準

物、これはない方がいい物など、皆で協議し絞ることも悪くないと思うが如何か。

副町長 江差町のターニングポイントになるのは、洋上風力が設置されることで各種計画の内容が変わるだろうと思っている。この洋上風力で地域にどれだけの新しい企業誘致を図るか。保管港や促進区域になった場合、一過性ではなく、どうやって新たな企業を町の振興のために誘致出来るか。檜山管内、函館渡島を含め連携する。

この事業を含め、まちづくりに全力を上げていくので、議会のご理解を頂きたい。

一方、令和6年度は、エコの供用を開始する年で、当面は力点を置きながら中心市街地活性化を目指す。町長 令和4年第1回定例会の一般質問で、用途地域の見直しを図るべきと提案している。付近は商業地域で、準

今後、まちづくりを見据えた中で着実に取り組む必要があると考



旧鉄口旅館周辺地区

無会派

出崎 徳さき

太郎 議員

問 江差港の長期構想見直しに着手を 答 能登半島地震を教訓に検討する

能登半島地震は、日本・千島海溝地震災害に備えている渡島半島の太平洋側沿岸市町村の震災対策においても教訓を伝えている。

日本海側にある江差町は、津波避難対策特別強化地域には含まれていないが、振興局の所在地であり、渡島半島太平洋側の被災時に復興支援を担わざるを得ないと考えており、そのために半島道路網と江差港の整備が必要だと考える。

現在進められている檜山沖洋上風力事業のゾーニングにおいて、海域の多くが調整エリ



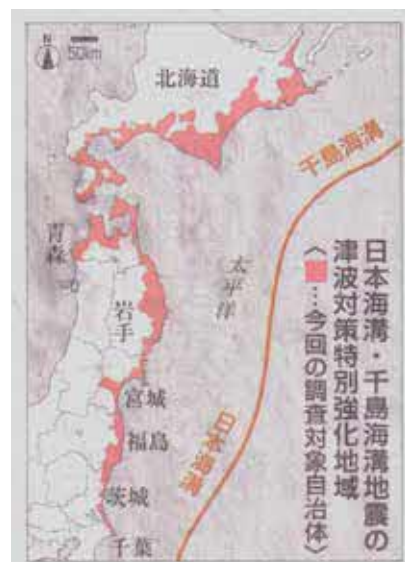
出崎 太郎議員

アとなることが想定されており、防災支援機能拡充のため、総合計画の継続施策と位置付ける江差港長期構想の見直しに着手する考えはないか。

町長 国は「命のみならず、船船を活用した防災訓練の実施などの取組を通じ、ネットワーク形成を進めており、町としては国の動きと連携していく。

半島道路網整備は、災害時の代替避難ルート確保する観点から、函館江差自動車道の早期延伸を実現する必要がある。

洋上風力発電の調整エリアとなる海域への対応は、かもめ島周辺を含めた景観の保全を図るとし、港湾区域の範囲を保全エリアとする方向性が示され、エリアの設定が今後の港湾整備に影響を及ぼさ



津波対策特別強化地域
北海道新聞 (2024年2月19日)

問 江差北小中学校の階上避難増設調査を 答 浸水想定区域外により考えていない

江差港長期構想の見直しは、北の江の島構想や洋上風力発電事業におけるメンテナン

の補完港として活用の見直しなどを踏まえ、検討して参りたい。

再 国の「命のみならず、ネットワーク」につい

江差北小中学校は、津波発生時の避難所に指定されており、現在、消防との話で垂直避難を前提に訓練が行われている。2階への垂直避難は、他へ逃げる時間もなくやむを得ないが、大規模改築でなく既存校舎の中で階上増設について調査、検討出来ないか伺う。

町長 北海道日本海沿岸における津波浸水想定に関しては、北海道から公表され、厚沢部

川河口部における最大遡上高15.46mなど、町内4か所の想定値が示されている。

公表値を基に令和4年3月に江差町防災ハザードマップを作成しており、江差北小中学校については、厚沢部川河口部などとは違い津波の浸水想定区域には含まれていない。浸水想定区域の変更もなく、既存校舎内の階上増設は、現時点では考えていない。

て江差町からアプローチはしているのか。渡島半島全体の復興支援体制を強靱にするため、日本海側の江差港に復興支援機能を備える必要がある。

江差で能登クラスの地震が起きた時に、太平洋側から助けてもらわなければならず、道路網と江差港の整備が必須だと考える。整備構想見直しに着手し、それに備える必要があると思うが如何か。

副町長 「命のみならず、ネットワーク」への、アプローチは特にしてない。

洋上風力の基地局の補完港となることで、港湾整備促進の近道となるのであれば諮っていく。

能登半島地震災害時の半島道路一本のみの怖さ、これらを改めて付加した状況で国に対して要請して参りたい。

再 復興庁派遣で気仙沼市の復興事業に従事してきたが、市内の海に近い4階建ての高校で、4階のフロアの25センチ上まで、水位が上がったのを見ています。北海道のシミュレーションどおりにならないこともある。

今の施設の中で、もう一段高いところがあれば、子供達も安心する。専門家の建築士に見てもらい、可能性を調べて欲しいことが質問の前提であり、調査に着手出来ないか。

総務課長 江差北小中学校に限らず、浸水想定がされ得る区域のにおける対策というののも、町全体として考える立場にある中において、想定区域となる部分が優先させる区域とされている。今後、浸水想定区域変更のような事態が生じるようであれば検討項目とする。

再 道からシミュレーションの見直しが必要ないかと着手出来ないか。

総務課長 現時点においては、ご理解頂いた内容となる。

無会派

増永

一彦

議員

問 エコー建設費を町民と共に返済するか
答 町民として責任をもって着実に進める

令和5年第4回定例会一般質問の中長期財政運営計画の再質問において、答弁漏れがあり改めて質問する。

江光ビル跡地の建設

施設の借金について、15年計画で返済となっており、その15年間で、町長もいち町民として一緒に返済する意向があるか伺う。

町長 誤解があるが、

工事に係る過疎債返済期間は12年間。町持ち出しの一般財源は年間約430万円である。ご質問の点については、町民として、そして町長として町のために出来ることを、これまでもこれからも、責任を



増永 一彦議員

持つて着実に進めていく。

問 町公用車3台の早期解約を
答 リース満了後解約で変更無

令和5年第4回定例会一般質問で、江差町の公用車が多いと質問した際に、3台分については、リース契約終了後に公用車を減らすと答弁があったが、今

でも変わらないか。

問 町長公用車の早期解約を
答 リース満了後解約で変更無

町長の公用車も同じく、リース契約が終了前に解約出来ないか。

町長 令和5年第4回定例会一般質問で、必要性を答弁。リース期間満了まで使用の考えは変わらない。

再 町長公用車は、期間満了までに残り2年間。年間リース代は3問目の3台と町長公用車を足すと、317万円程も掛かり無駄遣いである。それでもリ

問 町では印鑑省略をどう進めているか
答 今後全庁的に検討を進めていく

国、北海道では、公式文書や書類等の印鑑省略を進めているが、町として印鑑省略をどう進めているか伺う。

でも変わらないか。

町長 担当課長より、町の一方的な都合で相手側に迷惑をかける方法は厳に慎むべきであると回答した。考えに変わりは無い。

ス契約を続けるか。

財政課長 リース契約中に解約することは、損害賠償金、違約金支払いが必要。損害賠償を支払う場合、地方自治法の規定で議会の議決が必要がある。

総合的に勘案して、計画通りに、期間満了をもって、解約するということには変わりはない。公用車の見直しは、引き続き継続する。

くないか。

国の押印見直しマニュアルでは、押印見直しを推進した結果、民間から行政への手続きの99%廃止の方向になったと記載がある。改めていつ進めるか。

総務課長 押印省略が、行政サービス全体に係

問 エコーの財政シミュレーションは
答 トータルとしての実施はしていない

旧江光ビル跡地建設施設について、建設資金、建設施設計画の際に、貸施設の現状と建設後の財政シミュレーションを行ったか。

町長 トータルとしての財政シミュレーションは、

問 拠点施設資金をどう回収するか
答 施設単体での回収を想定していない

北の江の島拠点施設建設資金をどう回収するか具体的に説明願う。

町長 整備する施設を拠点として街中に人を周遊させ、活性化を目指すことが目的。施設単体での資金回収を想定していない。

再 資材高騰、人件費高騰などにより当初と狂いが生じ、道内の大

わる検討事項で、全庁的な検討が出来ていない。

域域活性化の為の施設であり、ご理解を。

再 町は計画段階で施設収益を考えていなかったのか。

まちづくり推進課長 どう収益を上げるかは、今後対応していく。



拠点施設設計画地（基本計画より抜粋）

副町長 議会場で反対、延期等の論議が今後どこかのタイミングが想定されるが、再度延期の考えはない。

無会派

塚本 つかもと

眞 眞こゝろ
議員

問 能登半島地震を含めた防災見直しは

答 厳冬の被災を想定した再点検実施

この度の、能登半島地震における災害に対し、江差町においても冬の災害予防の点検と同時に見直しを含めて、再検討していく必要があると考える。

冬の災害では、避難所において第1に暖房の確保や飲料水の確保や、断水が発生した場合の簡易トイレの確保など多面にわたる。

この度、江差町より職員が珠洲市の復旧支援に携わった経験も大いに、見直しに役立つことが考えられる。

町では昨年防災計画が見直されたばかりであるが、他の町村においては、防災計画の見直しの動きがあると聞く。江差町としての対応を伺う。

町長 当町における地域防災計画は、災害対策基本法や防災基本計画など、関連計画の改訂に対応するため、令和5年3月に大幅な見直しを行った。

冬の対策としては、主に積雪寒冷対策計画における寒冷対策の推進として、避難所対策、被災者及び避難者対策、住宅対策などを掲げている。

今回の珠洲市への災害支援については、毛布やストーブなどの厳冬対策、トイレの使用が出来ない場合の対策など、地域住民とともに、厳冬の被災を想定した再点検を行う必要があると考える。



塚本 眞議員

問 DXをどのように取り進めるか

答 比較検討を進め効率化を図る

町長の先程の執行方針で、デジタルトランスフォーメーション（以下DX）を追求していくという部分があった。

自治体に求められるDXは、住民の利便性や、行政サービスの向上させるためのものと考えている。その一環として、マイナンバーカードを活用することや、行政手続きのオンライン化等が挙げられる。

江差町においては、DXをどのように取り進めるのかを伺う。

問 パートナシップ制度の導入は

答 令和6年度中の導入を目指す

照井町長はこれまで、不幸ゼロのまちの実現を明言をしている。すべての町民が、江差町に住んでよかったと思えるまちづくりが重要である。

近年、多くの市町村においてLGBTなどのカップルを認める

問 学校図書司書配置の考えは

答 現時点は教員や町の協力を継続

文部科学省の調査では、専任の学校図書司書が配置されている公立小中学校は47%、司書を全く配置していない学校が11%となっており、司書の配置は、学びの差につながると考える。

町において今後学校図書司書を配置する考えがあるか伺う。

教育長 学校図書法第6条第1項に、司書配置に関する努力義務規定が謳われている。現在、町において学

年度末までに導入予定の市と町を含めると、道内人口の7割が本制度を利用可能となる。

本来は国の制度として確立させるべき案件だと考えるが、地方で出来る取り組みを進めることが、今日のパートナーシップ制度の広がりと認識する。

不幸ゼロのまちの実現を目指しており、そ

パートナーシップ制度 北海道導入市町村 (令和6年4月現在)		
札幌市	函館市	帯広市
北見市	岩見沢市	苫小牧市
江別市	北斗市	滝川市
小樽市	旭川市	深川市
東川町	鷹栖町	当麻町
愛別町	東神楽町	美瑛町
比布町		

無会派

小梅

洋子

議員

問 町の「ふるさと納税」返礼品経費率は

答 新ルールのもと上限を超えていない

10月よりふるさと納税の経費の算定ルールが変わり、返礼品や送料の他に、仲介サイト事業者への手数料も経費に含まれた合計が、寄附金の50パーセント以下になるように決められた。

返礼品についても、「地場産品」の基準が厳しくなったが、江差の実態はどうか。

幸い寄付額は随分伸びているが、水産物の漁獲量が低迷している現状から、人気の商品はどのようなものがあるか。

町長 「ふるさと納税」寄付額は令和5年1月



小梅 洋子議員

からの暦年ベースでは既に目標である2億円を超え、令和5年度も同じく目標額を確保できると見込む。

算定ルール改正に伴い、令和4年度における町の経費率の実績は49.5パーセントで、今年度の経費率についてもクリアできると予測している。

人気の返礼品については、「ベニズワイガニ関連」と「生うに」の2種類で寄附総額の半分以上を占めている。水産物の漁獲量には好不漁の波があり、また返礼品取り扱い事業者の多くが高齢である。事業の継続や準備について各事業者へ促しが必要と考えている。今後も安定的な財源確保、ふるさと納税の増額に向けた取組みを強化していく。

問 ニシンの消費拡大への対策は

答 イベント・飲食店の提供促進検討

江差は「ニシンの繁栄が息づく町」のストーリーで日本遺産認定されながら、ニシンが活用されていない。2月のなべ祭りでも、昔風の三平鍋とは様変わりしていて、時代の流れを感じた。郷土料理は食の多様化や家庭環境の変化で、次世代に繋げることが困難になっているが、江差にとってニシンは、重要な産物がある。

昔からの庶民の味として、気軽に食べられる様な仕組みが出来ないものか。今年も群衆が確認され、漁も本格化して明るい兆しの中、消費拡大に向けての対策について伺う。

町長 檜山管内各町と連携を図り、ニシンの種苗生産と放流等を実施しており、今年2月24日にもかもめ島前浜で群衆が確認されている。種苗生産・放流などの取組が資源量・漁獲量の増加に寄与して

いるものと考えている。

昨年、日本遺産が再認定となり、「江差の五月は江戸にもない」ニシンの繁栄が息づく町」を題材にしたまちづくりを進める上で、「ニシン」を中心とした食に関する事業の展開を図っていく。

また、郷土料理の保護と継承、ニシンの消費拡大を図る観点から、各種イベントや飲食店などでのニシン料理の提供の促進、ニシン料理を学ぶ機会の創出などについて検討している。



問 子ども達のエコーの活用は

答 施設全体で活用機会を創出する

家庭内での諸問題や、学校でのいじめ等で居場所を失い、相談する人も無く、孤独感に陥る少年達が多い。

最近では、ワゴン車を住宅のリビングのよう仕立て、どこにでも出向ける居場所としてリビングカーでの支援も出てきている。

江差では「コミュニティプラザえさし」(以下エコー)内の中高生用シェアスペースが、正に子ども達の居場所になる。居心地の良い場所づくりの為に活用をどのように考えているか。

教育長 エコーの中高生用スペースの活用に限ると、子ども達が自由に利用できる場所として整備されることから、教育委員会として特定の利用は考えていない。

一方、施設全体を通じての活用は、各スポーツ少年団のレクリエーションや、世代を



コミュニティプラザえさし(エコー)のシェアスペース

超えた交流など、施設の機能を有効に生かした社会教育事業の取り組みを考えている。学校教育の観点からは、社会科や特別活動の時間を利用した活用や、展示などギャラリーとしての利用等、マチの新たなランドマークとして、子どもから高齢者まで幅広い世代が集い、生きがいや幸福、そして何よりも楽しいをキーワードに、希望が持てる施設となるよう学校や各団体などと連携し、様々な活用機会の創出を図って参りたい。

無会派

田畑 豊利 議員

問 日本遺産再審査の情報公開を

答 反問権への回答が無く答弁出来ない

日本遺産認定再審査について、令和5年5月15日以降、12月初旬まで一度も町民と議会に対し、情報や議事録を公開していない。資料も黒塗りで非公開としている法的根拠は。

●町長 1問目に関し反問権を行使したいので、議長の許可を願う。

●議長 反問権行使、町長の発言を許可する。

●反問権開始

●町長 この間、議員の日本遺産再審査における議事録公開の要求に関し、町は審査を受ける側で、情報公開は文化庁の判断とお伝えした。質問に回答頂いた



田畑 豊利議員

上、答弁したい。

1点目、再審査に関して、町に情報公開請求があり、請求目的は興味とお答えしている。再審査に関してどんな疑問をお持ちか。

2点目、疑問を晴らすため、何ををお伝えすれば宜しいのか。

●田畑議員 興味ある事から全てが始まる。

2問目について前段で、日本遺産の全容を説明したい。

まずは今・・・

今あなた。笑いましたよね、あんな無礼だ。

●田畑議員が自席を立ち議長の制止命令を聞かず、町長へ暴行を働くような勢いで迫る

この行動に対し、急遽、議会運営委員会が開催される。詳細は14頁参照

●議長 引き続き2問目について回答を。

●この後、反問権の問答が続くが、質問と答

弁が噛み合わない

●議長 流れを見ても、答えが出てこない状況なので、反問権を終了する。

●反問権終了

●町長 反問権の質問にお答え頂けず、答弁出来る内容がないので、答弁を差し控える。

問 事業費900万円の費用対効果は

答 加盟町村と連携し町の魅力発信

日本でも美しい村連合加盟事業において、9年間で900万円以上投資した費用対効果はあったのか。

●町長 都会への観光プロモーションを、加盟町村と一緒にいうことで、町の魅力を発信する場となり、十分意味のあることと考える。

●再 町の発展が見えない。歴まちでどこかあれば説明して欲しい。

●追分観光課長 登録資産は、歴まちだけではなく、姥神大神宮渡御祭、江差追分も含む。

加盟で900万というお話も、加盟により江差に足を運んで頂く環境を構築し、最終的



日本遺産横看板（役場正面）

には町民の皆さんによって、地域文化が守られ、観光振興につながると考える。

●再 連合が発行しているミニ新聞があり、一部の会社の宣伝をしている。日本一美しい村連合と関係ないと思う。なぜ、一会社の宣伝になるのか。

●町長 全国に販売をしているもので、その中で江差町を取り上げて頂いたもの。どう取り上げるかは、編集をする側の判断である。

地域の企業を応援していく、それが町長の1つの仕事でもあると考え、ご指摘には当たらないと思っている。

問 開陽丸付近ミニFMの作動がないが

答 開陽丸屋外トイレ周辺で作動確認

開陽丸ミニFM局が作動していない。周辺の環境は、砂とゴミだらけであり、江差町でもてなしという言葉は今後使用禁止と考えるが如何か。

●町長 ミニFM局の作動は、機器の状況により聞こえない場所もあるが、開陽丸屋外トイレ周辺では作動している。おもてなしという言葉の使用禁止に関し、行政が判断する立場で

●町長 ミニFM局の作動は、機器の状況により聞こえない場所もあるが、開陽丸屋外トイレ周辺では作動している。おもてなしという言葉の使用禁止に関し、行政が判断する立場で

●町長 ミニFM局の作動は、機器の状況により聞こえない場所もあるが、開陽丸屋外トイレ周辺では作動している。おもてなしという言葉の使用禁止に関し、行政が判断する立場で

●町長 ミニFM局の作動は、機器の状況により聞こえない場所もあるが、開陽丸屋外トイレ周辺では作動している。おもてなしという言葉の使用禁止に関し、行政が判断する立場で

問 ラウンドアバウトを急ぐ理由は

答 事故危険箇所の早期解消のため

かもめ島入口のラウンドアバウトについて、なぜ、計画を急いで進めているのか。

●町長 国道事故危険箇所解消の早期対応を目指し、ラウンドアバウト方式により進められることとなり、町も整備に向けて連携する。

●再 一つの段階でラウンドアバウト方式に決まったのか。

まちづくり推進課長

●町長 田畑議員の憶測に関してのご質問には、お答え出来ない。

無会派

大門 だいもん

和幸 かずゆき

議員

問 子ども議会を開催する考えは

答 選挙管理委員会へ情報提供し検討



大門 和幸議員

18歳の有権者となる高校生たちへ、選挙の際、どう考えて投票すべきかをどう教えればよいか、今この地域では何が大きな問題なのか。今までどんな手だてがとられ、結果はどうであったか。その経緯を踏まえ、これからどのように新たな方策をとるべきなのかなど、地域の課題に対し、体系的に学べる教育課程は存在しない。18歳になる若者が地域の課題に興味を持ち、みずから考え、1票をもて余さない様にするための方策が必要である。そこで、こども議会

が大いに力を発揮するのではと考える。子どもたちが早い段階から社会的・政治的な参加を体験することは、成人後の積極的な町民参加につながる可能性がある。子ども議会は、そのような参加意識や能力を養う場として役立つ。

未来の有権者へとるべきこども議会を用いた諸政策及び選挙への意識づけに関して提案し、どのようにお考えか伺う。

町長 私は子ども達が考えたことや要望が、実際にまちづくりの中で実現するということが政治や行政に関心を持つってもらう一番の近道だと考えている。

学校遊具の整備やテニスコートの有効活用を図る際、直接子ども達と意見交換を行い、その意見を取り入れた予算案を議会へ提出し、

議決というプロセスを経て学校遊具などの整備を行ってきた。子ども議会の開催を通じて政治や選挙への参加意識を醸成する。このご提言については、昨今の選挙投票率の低下や政治への無関心をどの様に改善し政治参加を促すのかという、正に選挙管理委員会が担う部分が大きいものと考ええる。

改めて選挙管理委員会へも情報提供し、選挙や政治意識の向上につながる方策を行政としても検討して参りたいと考えている。



江差町議会議場外観

第1回江差町議会定例会 賛否一覧（反対のあった議案を掲載）

（○：賛成 ×：反対）

議 件 名	増永 一彦	大門 和幸	田畑 豊利	出崎 太郎	西海 谷望	小梅 洋子	室井 正行	小野 寺真	飯田 隆一	打越 東亜夫	塚本 眞	採決 結果
議案第3号 令和5年度江差町介護保険特別会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決

継続調査中！

総務産業常任委員会

『地域公共交通に関する事務調査』

社会文教常任委員会

『親子で楽しめる健康的な空間づくりに
関する事務調査』

議会ホームページをご覧下さい

定例会の日程、審議内容の他、平成24年度以降の会議録を閲覧することができます。議会だよりへの掲載は、紙面の都合上、一部省略しております。詳しくはHPにてご確認願います。

（議会HPアドレス）

<https://www.hokkaido-esashi.jp/gikai/gikai.html>



みんなの議会 傍聴しませんか

次の定例会は6月です。

日程は、町広報誌やホームページでお知らせします。

江差町議会本会議は、どなたでも傍聴することができます。

町民の皆様が選んだ議員の活動状況や、町政の方針などを議場で確かめましょう。

皆様の傍聴をお待ちしております。

本会議中の議員に対する懲罰可決～1日間の出席停止

● 議会運営委員会から田畑豊利議員に対する懲罰動議・・・可決

第1回定例会の田畑議員一般質問において、地方自治法第129条の議場の秩序維持に反し、また江差町議会会議規則第107条の議事妨害の禁止、第108条の離席に違反する発言・行動が行われたため。



● 懲罰特別委員会を設置し委員を選任。委員会を開催し審査。

委 員 長	室 井 正 行	委 員	飯 田 隆 一
副委員長	西 海 谷 望		小 梅 洋 子
			塚 本 眞



懲罰特別委員会審査報告書

令和6年3月6日

江差町議会議長 萩原 徹 様

懲罰特別委員会委員長 室井 正行

本委員会は、令和6年3月6日に付託された動議の審査を終了したので、下記のとおり報告する。

記

- 1 付託動議 田畑豊利議員に対する懲罰動議
- 2 審査結果 明日3月7日（木）1日間の出席停止
- 3 まとめ

本委員会では、田畑豊利議員が本日開会の第1回定例会の一般質問第1問目において、理事者からの反問権への答弁の際、「町長が笑っていた」として、その事に腹を立て、自席を立ち、議長からの制止命令も聞かず、町長に対し暴行を行うような勢いで迫った行為については、議会の品位や名誉を傷つけるばかりではなく、議員としての資質に欠ける行為であり、職責、責任の重さを認識しているとは思えないものである。

議場における暴行未遂や秩序維持に反し、議事を妨害する行為については、許されるものではなく、江差町議会議員に就任以後においても、問題のある発言による議場での謝罪や、全議員への侮辱発言による「問責決議」、正当な理由のない会議への欠席が多い事による議長からの厳重注意など、度重なる行動に対し、注意・勧告を行ってきたが、反省の態度がまるで見られないと判断し、1日間の出席停止とすることで全会一致で決定した。

出席議員全員賛成により田畑議員の1日間出席停止が決定した。

注
釈

- 1 懲罰の対象…懲罰の対象は、地方自治法及び会議規則等に違反した議員の行為
- 2 地方自治法に違反する行為
 - (1) 議場の秩序維持に反した場合
 - (2) 言論の品位に反した場合 等
- 3 懲罰の種類
 - (1) 戒告
 - (2) 陳謝
 - (3) 出席停止
 - (4) 除名

臨時会

2月5日に第1回臨時会、3月28日に第2回臨時会が行なわれ、一般会計の補正予算などについて審議し、原案どおり可決、閉会しました。

【第1回臨時会】

◎補正予算

◇能登半島地震災害派遣

364万4千円

◇令和5年度低所得世帯価格高騰支援給付金事業（均等割のみ課税世帯分）

1,753万8千円

◇令和5年度低所得世帯価格高騰支援給付金事業（こども加算分）

401万3千円

◇江差町企業版ふるさと納税地方創生基金積立

30万円

◇江差町かもめ島交流拠点づくり基金積立

500万円

◇能登半島地震被災地義援金

100万円

◇能登半島地震災害派遣

218万3千円

◇町立小学校エアコン設置工事

1億4,701万7千円

◇町立中学校エアコン設置工事

6,699万7千円

◇図書館資料整備

10万円

◇運動公園テニスコート中央フェンス補修工事

210万1千円

◎条例改正

◇江差町手数料条例一部改正

◎その他

◇工事請負契約の締結（令和5年度町道陣屋楸川線第3楸川橋架換工事）

【第2回臨時会】

◎補正予算（専決）

◇地域介護・福祉空間整備等施設整備補助

726万円

◇檜山地域人材開発センター貯水槽揚水ポンプ等更新工事

112万2千円

◇江差町かもめ島交流拠点づくり基金積立

300万円

◎補正予算（新年度）

◇開陽丸記念館フォアマスタード撤去工事

900万円

◇職員人件費（教委分・教員業務支援員）

193万4千円

全員協議会を開催しました！

● 第1回全員協議会（1月17日）

- ・能登半島地震における珠州市への対応について
- ・江差町再生可能エネルギーゾーニングマップの素案について
- ・土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）に指定された土地評価額の補正について
- ・令和5年度物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金について

● 第2回全員協議会（2月5日）

- ・「コミュニティプラザえさし」の管理・運営等の方針について
- ・伏木戸地区における民間宿泊施設の建設について

● 第3回全員協議会（2月20日）

- ・令和6年度江差町予算概要について
- ・令和6年度一部事務組合予算概要について
- ・第9期江差町高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定について



珠州市派遣の様子



コミュニティプラザえさし外観



第9期高齢者福祉計画及び介護保険計画

出欠状況をお知らせします！

令和6年1月1日から3月31日の出欠状況です。斜線部分は出席する必要のない会議です。

会 議 名	会議日	総務産業常任委員会					社会文教常任委員会						議長
		委員長	副委員長	委 員	委 員	委 員	委員長	副委員長	委 員	委 員	委 員	委 員	
		小野寺 真	出崎 太郎	打越東亜夫	増永 一彦	塚本 真	大門 和幸	西海谷 望	飯田 隆一	室井 正行	小梅 洋子	田畑 豊利	
第 1 回 定 例 会	3月 6日	①	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3月 7日	①	○	○	○	○	○	○	○	○	○	出席停止	○
第 1 回 臨 時 会	2月 5日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	⑥	○
第 2 回 臨 時 会	3月28日	①	○	○	○	○	○	○	○	①	○	○	○
第 1 回 全 員 協 議 会	1月17日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	⑥	○
第 2 回 全 員 協 議 会	2月 5日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	⑥	○
第 3 回 全 員 協 議 会	2月20日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務産業常任委員会	2月 8日	○	○	⑥	○	○							
社会文教常任委員会	1月11日						○	○	○	○	○	⑥	
	2月20日						○	○	○	○	○	○	
議会広報特別委員会	1月11日		○		○		○	○				⑥	
	1月17日		○		○		○	○				⑥	
	3月28日		○		○		○	○				○	
議 会 運 営 委 員 会	2月 5日	○	○					○	○	○			○
	2月16日	①	○					○	○	○			○
	2月26日	①	○					○	○	○			○
	3月28日	①	○					○	○	①			○

○：出席 ▲：欠席（公務） ●：欠席（中の数字：1 傷病・2 出産・3 育児・4 看護・5 介護・6 私用）

議会の動き

- 1月11日 ◆議会広報特別委員会
◆社会文教常任委員会
- 1月17日 ◆第1回全員協議会
◆江差町議会議員会臨時総会
◆議会広報特別委員会
- 1月24日 ◆檜山町村議定会定例議長会
(江差町：議長)
- 2月5日 ◆議会運営委員会
◆第1回臨時会
◆第2回全員協議会
- 2月6日 ◆社会文教常任委員会行政視察
～7日 (岩手県久慈市)
- 2月16日 ◆議会運営委員会
- 2月20日 ◆第3回全員協議会
◆社会文教常任委員会
- 2月26日 ◆議会運営委員会
- 2月29日 ◆檜山町村議定会臨時会（乙部町：議長）
- 3月6日 ◆第1回定例会
～7日
- 3月21日 ◆南部松山衛生処理組合議会第1回定例会
(西海谷議員、大門議員)
◆江差町・上ノ国町学校給食組合議会
第1回定例会（田畑議員、増永議員）
◆檜山広域行政組合議会第1回定例会
(出崎議員)
- 3月28日 ◆議会運営委員会
◆第2回臨時会

今号の表紙

☆ 江差北小で入学式

4月6日に町内小中学校の入学式が一斉に行われました。

江差北小学校でも5名の新一年生が入場し、先生に名前を呼ばれて大きな声で返事をしていました。

一日も早く学校生活に慣れ、健やかに成長してほしいですね。

晴れてご入学おめでとうございます。

(撮影者：出崎 太郎 議会広報特別委員会委員長)



江差町議会議員会 石川県珠洲市へ義援金を贈りました

令和6年能登半島地震により、甚大な被害を受けた友好都市である石川県珠洲市に対して、令和6年3月28日、議員会より合計24万円の義援金を贈りました。

今も続く余震に予断を許さない状況は続いています。珠洲市民のご無事と、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

議会からのお願い 議会だより取材のため、議員が写真撮影に伺うことがあります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



この用紙は、原材料の一部に
道産間伐材を使用しています